

Information 会員便り

事務局からのお知らせ

◆WSFジャパンの活動も、今年で8年目にはいりました。少しずつですが、会員の輪も広がっています。今回の会員便りでは、新会員の照井英里子さんと、WSFジャパンで初めての賛助会員になったSPORTS 21をご紹介します。

照井英里子さんは、東京の品川区で早朝ラジオ体操の指導者として活躍されています。静岡県でその指導をスタート、今年で9年目になるそうです。

「始めた頃は誰もする人がなく、1人でしていましたが、今では多くの人が参加して、和気あいあいとやっています。ラジオ体操のほかに、中国の第六操、第八操（いわゆる中国のラジオ体操）や、予防練功法といわれるものもやっています。また体操だけでなく、ハイキングなどの行事もしながら、交流の場を広げています。体操を通して知り合った人の「和」を大切に、楽しくやっていきたいと思っています。

ラジオ体操の指導のほかに、生涯スポーツにも関心があるので、区の体育指導員もやっています。今年で5年目になります。

WSFジャパンには、スポーツ医学・科学の情報を初め、多くの情報提供を

期待しています。組織を運営していくことは大変ですが、続けていくことが大切だと思います。私もラジオ体操を始めたばかりの頃は、町会に話しかけたり、夏休みに子供たちと一緒にやりたりしたことで、徐々に仲間が増えました。ですから、まず、続けていくことだと思います。そして、続けていくということが、大きな力にもなっています。このように照井さんは話してくれました。

賛助会員のSPORTS 21は、このWSFジャパン・ニュースの編集をするなど、WSFジャパンの活動に多くの理解と協力をしています。スポーツ全般にわたる情報提供、イベントのコンセプトづくりや雑誌の編集などを中心業務としています。

今、女性スポーツは企業にとって、重要なターゲットの一つになってきているとか。当事務局では、女性スポーツに関するイベントの開催や、賛助会員への協力をよびかけて、色々な企業をあたってみました。しかし、よい返事はなかなか聞くことができませんでした。

「女性スポーツイコール華やかでなければならぬ」。こんな考え方が当然のように思っている企業の方々が、華やかさを支えている土台（Foundation）も、とても大切なのですよ。

◆今や子供からお年寄りまで、あらゆる年齢層の人たちが積極的にスポーツを楽しむようになりました。また、それに伴い、スポーツによるケガや故障、ウエアや用具の問題などで悩んでいる人も増えています。さらに女性にとっては、スポーツと生理・妊娠といったことも重要な問題です。

こういった悩みにわかりやすく答えてくれるのが「女性のスポーツ事典」（武蔵野出版、三省堂刊、1000円）です。例えば「少女とスポーツ」では、少女期のスポーツ障害、腰や膝の痛みなどをとりあげ、その原因や治療、予防方法など、また「妊娠とスポーツ」では、妊娠がスポーツを行う際の注意点や利用施設について書かれています。そのほか「高血圧とスポーツ」「身体障害とスポーツ」など、様々な事情に応える内容になっています。また、「スポーツと心のひずみ」「スポーツと食事」といったこともとりあげています。スポーツをしていて何かわからないことが生じた時、まず、この本をひもといってみてはいかがですか？

新会員紹介

▽照井英里子（東京・品川区）▽木村悦子（東京・目黒区）▽（有）スポーツ21エンタープライズ（東京・渋谷）

WSFジャパンとは…

WSFジャパン（女性スポーツ財団 日本支部）は、米国のWSFをお手本とし、日本の女性スポーツの発展、振興を目指し昭和56年12月に旗揚げされた非営利の団体です。会員は選手、指導者をはじめ、一般のスポーツ愛好者、研究者、スポーツビジネスにかかわる企業関係者など、男女を問わずさまざまな分野にわたっています。

運営は会員の会費を財政基盤とし、ボランティア活動によって支えられています。

入会金 年会費

学生会員：3千円 5千円
個人会員：3千円 8千円
団体会員：5千円 1万5千円
賛助会員：5万円 10万円（二口）

WSF Japan News

第17号（季刊）春季号

発行 1989年3月

発行人 三ツ谷洋子

編集 SPORTS 21

発行所 WSF Japan

〒151 東京都渋谷区西原

3-36-23-202

☎03(467) 5211